

# 男女共同参画情報局

リーディングカンパニー対談

男性の家事・育児

クレオ大阪の相談

大阪市男女共同参画普及啓発事業

男女共同参画情報局

セミナー情報

## お知らせ プラチナくるみん認定が創設されました

次世代育成支援対策推進法に基づき、行動計画を策定した企業のうち、行動計画に定めた目標を達成し、一定の基準を満たした企業は、申請を行うことによって「子育てサポート企業」として、厚生労働大臣の認定(くるみん認定)を受けることができます。この認定を受けた企業の証が、「くるみんマーク」です。平成27年3月末時点で、2,138社が認定を受けています。

さらに今年4月1日、次世代法(次世代育成支援対策推進法)の改正に伴い、新たにプラチナくるみん(特例)認定が創設されました。「くるみん認定」を受けた企業のうち、より高い水準の取り組みを行う企業を認定するものです。厚生労働省は今後も、企業の子育て支援への取り組み促進につながるよう、これらの認定制度の周知を図っていくとしています。



### プラチナくるみん(特例)認定制度とは?

プラチナくるみん認定制度は、次世代育成支援対策に自主的に取り組む企業を応援するため、くるみん認定を取得した企業の一般事業主行動計画の策定義務に代えて、次世代育成支援対策の実施状況を公表すればよい制度です。

↓くるみん認定・プラチナくるみん認定について詳しくはコチラ↓

[http://www.mhlw.go.jp/bunya/koyoukintou/pamphlet/pdf/kurumin\\_20141202.pdf](http://www.mhlw.go.jp/bunya/koyoukintou/pamphlet/pdf/kurumin_20141202.pdf)

## ニュース 林陽子さんが日本人初の国連女子差別撤廃委員長に就任

2015年2月16日、ジュネーブ国連欧州本部において開催された、第60回女子差別撤廃委員会において、林陽子さんが同委員会委員長に選出され、2年間委員長を務めます。

林さんは、弁護士として国内でも女性の地位向上等に向けた活動を行うほか、国際的にも、第4回国連世界女性会議(1995年)政府代表団顧問、第54回国連婦人の地位委員会の代表団員(2010年)や、国連の「人権の促進と保護に関する小委員会」代理委員(2004年~2006年)をはじめとして、人権分野、特にジェンダー分野における優れた専門的知見を発揮して活躍されています。

これまでも、自然災害・気候変動ジェンダー作業部会長等を務めておられました。今後は、学校や職場、家庭や地域において女性への差別がないか、各国の取組みをチェック・調整し、勧告にまとめあげていく等、委員長として、更なる貢献が期待されています。

### ※女子差別撤廃委員会とは、

女子差別撤廃条約の実施に関する進捗状況を検討するために設置され、23名の委員(任期4年)は個人の資格で職務を遂行し、2年ごとに半数が改選されます。

## お知らせ STOP! マタハラ

働く女性が妊娠や出産、育児を理由に退職を迫られたり、職場で嫌がらせを受けたりするマタニティーハラスメント(マタハラ)をめぐる、厚生労働省は、育児休業の終了などから原則1年以内に女性が不利益な取り扱いを受けた場合には、直ちに違法と判断することを決めました。

男女雇用機会均等法は、「妊娠・出産を理由にした」降格や解雇、契約打ち切りなどの動き手にとって不利益になる取扱いを禁じています。違法と判断されたくない会社側が、出産や妊娠との因果関係を否定したり、「本人の能力不足」などと反論したりすることで、これまで女性が泣き寝入りするケースが少なくありませんでした。立場が弱い非正規雇用の女性は特に深刻で、妊娠や出産を告げるや否や雇い止めに遭うことも多いとされています。原則「違法」とされることで、女性が声をあげやすくなると期待されます。

企業はマタハラの問題をしっかりと認識し、女性たちが子育てをしながら働きやすい職場づくりがより一層求められることとなります。

### 法律で禁止されているマタハラ例

- 解雇、雇い止め、退職強要
- 正社員から非正規社員にするような契約内容変更の強要
- 降格
- 減給
- 不利益な配置変更
- 昇進、昇格の人事考課の不利益な評価
- 仕事をさせない
- もっぱら雑務をさせる (厚生労働省資料より)



### マタハラかな?と思ったら・・・

都道府県労働局雇用均等室(匿名でも大丈夫。無料です。)や、自分が勤める会社の労働組合、個人で加入できる労働組合に相談しましょう!

## 誌上セミナー

誌上セミナーでは、皆さんの関心が高いテーマを選んで、専門家の方が分かりやすく解説します。今号では5月13日に実施したセミナーの内容を取り上げます。



乳幼児から思春期まで、ワーク(参加型学習)を取り入れながら子育てに役立ち、また自己理解・自己肯定につながるなど、参加することで、元気が出る楽しい講座を心がけています。「学び」ながら、ほっとし、「気づき」や「人のつながり」を感じ、楽しい子育て、より良い親子関係が築けるお手伝い(エンパワメント)をしたいと思っています。

解説 森崎 和代さん

女性ライフサイクル研究所フェリアン 予防啓発スタッフ

## 進級・進学で抱える 子どものストレスを考える

～子どもたちを支えるために～

### ストレスって?

「ストレスがたまっている」「ストレスに弱い」など、日ごろよく聞く「ストレス」という言葉ですが、ストレスとは、わたしたちがまわりの変化に適応しようとする時に生じる生体エネルギーで、実は悪いものでも良いものでもありません。

例えば毎日の生活の中で気分が落ち込んだり、身体が重く何をやるにも気が進まないという日がありますが、これらもストレスが心や身体に表れた結果で、ストレスと上手に付き合えないと、このように心身に影響を及ぼします。

しかし毎日忙しいながらも、気分が良く、やる気があり身体もよく動くという日もあるのではないのでしょうか。ストレスと上手に付き合っていると、疲れも少なく充実感や達成感も得ることができます。またストレスを乗り越えていくことは成長につながります。

子どもたちは新しい環境の中で、ワクワクドキドキしながら、どのようなストレスを抱えているのでしょうか。子どもたちが進級・進学をきっかけに成長できるよう、その手助けについて考えてみましょう。

### 子どもたちのストレスを和らげるために

新しいことに出会い、挑戦する楽しみも多い新学期ですが、通学のしんどさ、クラス替え、友だち関係への不安、勉強が難しくなるなど様々なストレスもあることでしょう。これらの状況を取り除くことはできませんが、「そうなんだ」「それはしんどいね」「それはうれしいね」など気持ちに寄り添って話を聴いてあげたり、「できたね!」「よく頑張ってるね!」と、当たり前と思えることも褒めたり認めてあげたり、「うまくいなくても、大丈夫!」と励ましたり一緒に考えてあげることで、子どもたちはエネルギーを充電し、またやってみよう! がんばろう! という気持ちになることができます。

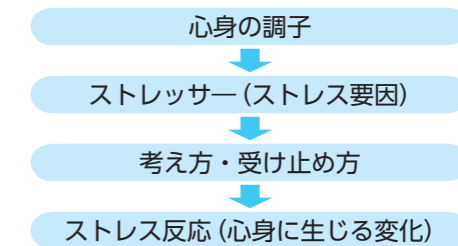
栄養バランスの良い食事、質の良い睡眠、適度な運動などで、日ごろから心身の調子を整えておくことも、ストレスと上手に付き合うための大切なポイントです。

### おとなも自分を大切にしましょう

子どもたちを支えるためには、ものごとの考え方や受け止め方を変えることが役立ちます。心配のあまり「なぜできないの!」「～すべき!」「～ねばならない」という考えになると、かえってストレスを増大させます。また子どもたちは、新しい環境でのストレスを、家で発散することもあります。「毎日頑張ってるんだ」「疲れているのね」「こういうこともあるよね」「～だといけどね」「まあいいか」と、考えや思考を少しでも緩めることができればストレスは軽減し、お互いのストレスを乗り越える方法やアイデアが思い浮かぶ可能性が増します。しかし、おとなも、一人で抱え込まず相談し話を聴いてもらうことが大切です。

新学期、おいしいおやつを食べながら子どもの話に耳を傾け、困ったことがあれば一緒に考えようという姿勢でまずは深呼吸。おとながゆったりと構え、親子で進級・進学ストレスを成長につなげられるといいですね。子どもたちは行きつ戻りつしながらも、次第にたくましくなっていくことでしょう。

### ◆ストレスのしくみ



### ◆ストレス軽減のためのオススメのコーピング(対処法)

- 深呼吸
- 笑う
- 泣く
- 歌う
- 体を動かす (ストレッチ、そうじ、散歩など)
- 寝る
- 話を聴いてもらう
- 自然に触れる
- いつもとちがうことをする
- 五感を刺激する (きれいなものを見る、良い香り好きなにおい、音楽を聴く、バランスのよい食事をとる、ふわふわしたものやビーズクッションをさわ) など

\*コーピングの鉄則は自分と他者を傷つけないこと

リーディングカンパニー対談

イクメン写真コンテスト

クレオ大阪の相談

大阪市からのお知らせ

誌上セミナー

セミナー情報